時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり
時事新報には每號詳細なる商況物價の報

時事新報

第三千九十三號
明治廿四年七月廿九日　水曜日
舊曆辛卯六月廿四日（丙、辰）
日出午前四時四十七分　日入午後六時四十七分
月出午後十一時四十九分　月入午後一時五分
滿潮午前十一時七分　午後十一時三十四分
（西曆一千八百九十一年）

時事新報定價

時事新報は每號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜日休刊

○時事新報社より直接に郵送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を揭ぐること寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依賴せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

官制及び俸給令の改正

改正の官制俸給令は愈々一昨日を以て發布したり元來官制俸給の如きは申さば政府部內の私事にして國政上に大關係あるものに非ざれば時の必要と事情とに由り時々改正を要することもある可し改正の頻々あるは敢て厭ふ可きに非ず唯その精神が今の政弊ある冗員を汰し冗費を省くに在りて其結果も亦その精神に負かざる限りは我輩に於ても異論あることなし今回の改正を見るに大に局課を廢合して事務の簡便を謀り又職の繁閑に由りて俸給の多寡を定むる等その精神の所在を知るに足る可しと雖も從來の經驗に據るに政府の改革は往々にして實の名に副はざるものなきに非ず左れば其結果の如何は他日實行の上にて之を見るの外なしと雖も我輩が此改正に就て殊に遺憾に堪へざるものあるは外ならず即ち官吏の官等位階を廢せざること是れなり從來官吏の官等には勅任奏任判任の區別あり又奏任以上の輩は必ず位階に敍せらるゝの定めにして此定めは今度の改正にも變ずる所なし何位何等何官など其肩書の體裁は甚だ美なれども扨實際に右の官位は何等の功能ありやと云ふに我輩は毫も之を知らざるのみならず寧ろ其弊害の多きを認めざるを得ず蓋し官職の輕重に應じて自から其地位に高下の別あるは政府部內の秩序として免る可らず左れば其任免に就ても或は至尊の勅命を以てするものあり或は之を奏問して行ふものあり又或は當局大臣の意見に由るものもある可し即ち勅奏判任の別ある所以ならんなれども是れは單に部內の秩序に存することにして一般社會の關する所に非ず或は勅任と云ひ奏任と云へば自から至尊の親任を表するが如くなれども實際は唯その職に重きを置くが爲めの便宜と見ざるを得ず如何となれば帝室は全國の等しく仰ぐ所にして其聖德は遍く萬民の上に及ぶものなれば官吏の一人が單に其職に在るの故を以て殊更に異常出色の信任ある可き理由なければなり左れば官吏の官等なるものは單に政府部內の秩序を表するの便宜として其部內にのみ通用するものなれば夫迄にして何も他より云々するに及ばざる事なれども今日の實際には然らずして官等の高下有無は恰も人間の階級を別にするが如く勅任は奏任よりも貴く奏任は判任よりも高く又その勅任判任の官吏を一體として一般の人民に對すれば其間に自から尊卑の區別ありて官尊民卑の風は社會交際の事にも及び日本社會に面白からざる現象を見るは畢竟官等を設くるの趣意彼れに在りて此れに在らざればなり彼の位階の如き我輩の所見にては帝室榮譽の器にして國家有功の人を待て之を授く可きものと信ずれども今日の實際には官吏にて奏任以上の輩は必ず之に敍せざるものなく然かも其地位の高きものは二位三位など昔の公卿大名を凌駕するものさへ少なからず然るに位階は官職と異にして其罷免黜陟に拘はらず終身之れを有するものなれば一度び官吏と爲るものは其在職中は勿論一生涯の間、一般の人民と其身分を異にして社會に特別の階級を造るものと云はざるを得ず或は專制の治體に於ては人民を君主の奴隸と視做して官吏は其支配人たるが故に特に雙方の間に尊卑を區別するも怪しむに足らざれども政治は既に立憲代議の風に變じ遠からずして政黨內閣の實をも見んとするの今日に當り官吏を一種特別のものとして殊更に位階の舊物を保存し社會に階級の殊別を設くるは事の體を得たるものに非ず單に部內の通用に限ると云へば格別なれども從來の如く唯官吏の名稱あるが爲めに官等位階の威光を外に輝かして社會の平等を害し人爲の階級を造るの弊は今日以後の政治に於て大に警めざる可らず或は曰く官吏が政府の事を行ふには自から人を服するの威重なかる可らず即ち官吏をして重きを成さしむるには官位も必要なりとの說もあれども其重きを成すと否らざるとは其人に存するものにして官位に由るに非ず彼の銀行會社の役員を見るに頭取と云ひ支配人と稱して別に官位の如きものとてはなけれども實際其人に技倆さへあれば世人は之を信じ之を重んじて事務に差支あるを見ず政府の官吏と雖も實際の技倆乏しからざるに於ては勅奏任正從位の名なしと雖も世間は夫れ相應の待遇を爲して自から重きを成すに至る可し人爲の名稱に由りて始めて重きを成すは官吏たるものゝ能に非ざる可し左れば我輩は今回の改正に際し政府が斷然官吏の官等位階を廢止せんことを希望したるものなれども改正の精神は重に各省の局課を廢合して事務の簡便を謀り又職の繁閑に由り俸給の多少を定むるに止まりて官位の制は依然變する所なし甚だ遺憾に堪へざる所なり思ふに政府部內の改革は今回を以て終る可きに非ず遠からずして之を再びし之を三びするの要あること必然なれば我輩は政府が今後の改正に必ず官位の廢止を忘れざらんことを豫め勸告するものなり

雜報

○出品の奬勵と製造の奬勵　本邦の外國貿易に就て第一の得意先きなる北米合衆國に於て明後二十六年に萬國大博覽會の開設ありと云ふより其道の人々を初め議會も政府も之れが出品の事に心を碎き當局の農商務省は頻りに其奬勵保護の方法を案じて之れに要する經費を凡そ六十餘萬圓と見積りたる趣なるが外ならぬ米國の大博覽會なれば此位の心構へあるべきは勿論のことにて十分に運送陳列等の保護を爲さんには六十萬圓の大金も亦必要ならんなれども總じて金の一點に至りては當局者の手並次第にて隨分之を節し得べく細かに積りて見れば或は餘り仰山に過ぐるやの懸念もあるべけれど是れは姑く差措き奬勵の方法に付て其他に尙ほ注意を求むべきことあり元來博覽會出品の目的は國產の販路を擴むるに外ならざれば品物製造の奬勵と出品の奬勵との間に區別を立て平素にありては工藝進步の爲めに力を盡し愈々博覽會などの開設あるに臨みては專ら出品の爲めに便利を與ふることを計り以て國產の販路を增進せしむるの策に遺憾なきを期せざるべからず今度の博覽會に就ても或は特に美術工藝品の保護として少からざる金額を支出すべしとの目算ありとか云へど其所謂奬勵保護も俄に國庫の金を投じて美術品の類を製造するの資を供するが如き事を爲すことありては節季間近くなりて急に働き出す類にして甚だ策の得たるものにあらず此區別は之を奬勵する地位の者は勿論奬勵せらるゝ當業者に於ても常に心得居るべきものなりと云々と或る貿易家の物語

○北海道の水產業　と云へば鰊、鮭、鱒、鰮等の漁獲も隨分莫大の數に達し同道の爲めには一大富源とも云ふべきものなれども扨該營業者はと云へば內地も同じく唯舊來の慣習を墨守し居りて彼等の爲めにも實に不經濟の事少からず概して彼等は獨立して自己の資本を投ずるもの甚だ少なく十の八九は所謂る仕込の方法に依るものにて例へば彼等の漁獵に從事せんとするや先づ仕込の親方とて販賣問屋の如き商人より其漁期間に要する漁具米噌等は勿論漁夫雇入れの賃銀に至るまでも一切之を借受け漁獵を終りたる後は漁獲物を擧げて親方に販賣を委托し親方は又其賣上代價より仕込の正金又は代價を引去り且つ別に手數料として賣上代の幾分を取り貸付けたる賃銀に對しては利子を受取り仕送りの物品に對しては購入手數料を受取ると云ふ仕組にて是等の親方は多く函館、小樽、江差、根室等の商人なれど稀には其他の地方にも金主ありて靑田賣又は賣付と唱へ未穫の荷物を賣渡す事もあるよし兎に角大體は前記の如き習慣にて營業者は詰り僅少の利益を得んが爲め金主の親方と漁夫との間に立ち唯漁獵の下仕組を爲し雇夫を監督すると云ふ位にて其他は一切雇夫に放任しある事なれば獨り金主との間往々分離し易き患へあるのみならず雇夫をも程善く使役する能はざるの傾あり尤も此營業者の中には獨立して自己の資本に依る者あれども是は孰れも同道の永住民に非ずして內地の出稼人なりと云ひ雇夫とても年々奧羽地方より數萬人も入込む事と云ひ同道の爲めには孰れの點より見るも隨分不經濟の次第柄なるを以て道廳の水產課にても早晚是等に向て大に改良する所なかる可からずとて目下種々の方法を設けて取調べ居れりと云ふ

○萬國奴隸賣買禁止會議に就て
方に於ける黑奴の賣買を禁止せん
白耳義國ブリュッセル府に於て萬
を開き各國政府も之れに參同して其
が和蘭國政府獨り不服を唱へ其調
り歐洲各國は和蘭政府の所爲を非難
を障碍し自由仁愛の耶蘇教義に背
國よりも亦彼是辨駁して一時は容
るが如き勢ありしが和蘭政府は本
ュッセル府の同國公使に委任して
書に記名調印せしめたりしに依り
免れたりしも國內に於ては忽ち大
國の主義を枉けたりとの世評を起
於ては一時は痛く外務大臣を攻擊
其後議員の請求に應して政府より
據れば右調印の節和蘭政府より宣
此の會議決定書の條款を甘受せしに
增進の大主義に於ては固より之を
れば此の點に對し同意を表する旨
世論も漸く止み既に去る五月國會
反對三票に對する贊成八十二票の
洲殊にコンゴー國に於ける奴隸賣
リュッセル府の會議決定書を批准
決せりと同地よりの通信に見ゆ

○米田侍從　同侍從は今度勅命を
師團へ出張するよしにて本月中に出
いふ

○山崎新太郎氏　北米合衆國オハイ
て文學科研究生たりし山崎新太郎氏
に首尾能く及第しバチロール　オヴ
たる由氏は直にジョンスホップキ
更に學理を講究する所存なりしも家
未だ平生に復せざるを以て一時歸

○非俗俱樂部の意見　新官制に關
との事より不圖世の噂に上りし非俗
の人々の組織せしものゝ由なれども
俄に生せしものにあらず昨年より其
互に胸襟を開ひて四方山の話、政
たる事ありしといふ尤も大學出身
るものと官途に仕ふるものと民間
ら境遇を異にし居れば到底此三界
事の難きより官途に在るもの打寄
を組織したるものにして一昨日公
は單に學理の一點より調査して得
め其上の運動抔は敢て企つるもの
此程富士見軒の會席にて調査委員
の委員會合を開き調査の方法を定

○肥前米の審查格付直段　佐賀縣に
の改良を奬勵すると共に輸出米監
々なりし米商規約をも一定し大に
にて此程同縣屬柳原善太輸出米監
平三の二氏が同國產米五俵を携帶
嶋米商會所へ審查格付直段の鑑定
所審查方にて直に堂嶋米商會所定
米三等品を標準となし本年七月限
込を以て審查せし結果は左の如し

肥前米　三等中部
米質　等級　一升の量目